

知られざる活動に、光を。

VOL.21

社会貢献情報紙

UT

United Tomorrow

心に
傘を。

●自殺防止相談電話

☎06-6260-4343 (金曜13時～日曜22時)

いつ止むともしれない悲しみの雨の中、ただじっと、動くことができない。
そんな時、そっと心に差し掛けてくれる傘のような存在でありたいと私たちは願っています。
その思いに賛同して撮影にご協力いただいた大阪芸術大学・甲南大学の学生の皆さん、
旧大芋小学校の皆様、ポスター掲出にご協力いただいた関西私鉄20社、JR西日本の皆様に感謝いたします。

■認定NPO法人国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター ●WEB動画「雨。～心に傘を～」も公開中



誕生日
キライヤったけど
ちょっと、
好きになったわ。

年の数だけ、
寄付しよう。

誕生日寄付
Birthday
Donation

子どもたちの相談に乗るスクールカウンセラーを経験したことで、子どもだけじゃない、親の問題、家庭の問題、社会のゆがみに気づいた高橋さん。80年代、時代はまだ子育ては母親の責任と思われ、父親たちは全力で仕事と向き合っていた。しかし、行き過ぎた生産性、効率性のひずみが家庭にも入り込んでいると思い、これでは子供たちが危ない、と思いました。そんな思いからフィランソロピー(語源は人間愛、今は社会貢献)の活動を続けてきたそうです。誕生日寄付の取り組みには、誰もが生まれてきたことに感謝し、寄付という形でいのちをつなぎ、それぞれが、生き生きと輝けるきっかけになればという高橋さんの熱い想いが込められています。

■公益社団法人 日本フィランソロピー協会 理事長 高橋陽子



今を生きています。
楽しく笑顔で、時には泣いて、
それでも今を生きていたい。
ひとりじゃないから。

(清水健)



乳がんで奥様をなくし男手ひとつで子育てに奮闘する傍ら、新薬開発や難病対策などに取り組む団体を支援する基金を立ち上げた清水健さん。清水さんとの出会いから、アラジール症候群を患う三男がチャリティ講演会のステージに上げていただきました。希少難病であるがゆえに支援が受けにくい状況の中、清水さんや客席の皆様にあたたかいチカラをいただきました。

『落ち込むときもある、泣くこともある、それでも前を向いて』と語る清水さんに、余命期間を越え、今を大事に生きる三男、それを支える私たち家族が前向きに生きる希望をもらいました。

■日本アラジール症候群の会 吉田幸司 吉田麻里



『ありがとう』の貯金箱。



大阪府内のボランティア連絡会が3ヶ月に1度集まって情報交換を行っています。顔触れが多彩、各エリアで個性や強みが違っていて得るものが多いとおっしゃいます。『近所に聴覚障がいの方がいらっしやって』『病院で手話通訳を見て私もやりたい・・・』『人工股関節になって家に引きこもってたけど絵本作りやったら私にもできるかな・・・』『定年したら社会貢献・・・』『子供3人が義務教育を終えた頃、視覚障がい者のためのマップ作りを新聞で知って・・・』などボランティアを始めた経緯は人それぞれですが、皆さんおっしゃったのは『こちらが元気をもらえる』ということ。『ありがとう』と言われるほど元気が出てくるそうです。

■大阪府市町村 ボランティア連絡会の皆さん

人生にレールは なくてもだいじょうぶ。



レールから外れてもやり直しがきかない社会であってはいけない。ともすれば与えることばかりになりがちな福祉の世界で、子育て、若者支援、多文化共生など、一人ひとりがつながりを感じられる居場所を作られている上村さん。つながりの中でできることを見つけ、自信を持ち、自分のチカラで生きていける人を増やしたい。人生のレールは、誰かに敷いてもらうものではなく、自分で作るもの。自分が動いた後に道ができる。そんなことを思わせてくれるお話でした。運ばれていく電車より、目的に向かって自分で動いてゆく自動車でありたいと思いました。

■特定非営利活動法人 とよなかESDネットワーク 上村有里

●記事掲載は無料。気軽にお申し込みください。

掲載申し込みならびに協賛申し込み、広告掲載については右記UT事務局までお問い合わせいただくかUTホームページよりお申し込みください。 <http://www.united-tomorrow.com/>

■ご意見・ご感想・お問い合わせ・掲載のお申し込みは

UT事務局 編集長 尾関栄二
E-mail: ut_oww@ybb.ne.jp hp:090-9162-1845